

2025 年 11 月 14 日

各位

会 社 名 株式会社テクノクリエイティブ
 （コード番号 9335 TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market）
 代 表 者 名 代表取締役 三嶋 一秀
 問 合 せ 先 取締役 経営企画室 室長 松田 英明
 T E L 096-386-2360
 U R L <https://www.techno-creative.co.jp/>

業績予想と実績値の差異及び営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 6 月 30 日に、その時点での業績の動向等を踏まえ、2024 年 11 月 14 日に公表した 2025 年 9 月期の業績予想を修正いたしました。本日公表した実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、営業外費用を計上することとなりましたので併せてお知らせいたします。

1. 業績予想と実績値の差異について

（1）2025 年 9 月期通期業績予想と実績の差異（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	6,275	193	120	68	34.00 円
実 績（B）	6,128	135	60	37	18.60 円
増 減 額（B－A）	△ 147	△ 58	△ 60	△ 31	
増 減 率（％）	△ 2.3	△ 30.0	△ 49.6	△ 46.0	
（ 参 考 ）					
前期通期実績（C） （2024 年 9 月期）	5,843	114	108	32	16.14 円
前期増減額（B－C）	285	21	△ 48	5	
前期増減率（％）	4.9	18.2	△ 43.8	15.2	

（2）業績予想と実績の差異の理由

2025 年 6 月 30 日付で開示した業績予想修正においては、2025 年 9 月期第 4 四半期以降の半導体市場環境の回復を見込んでおりました。当社主要顧客である半導体製造装置メーカーにおいても、生産装置の増産や当社への発注拡大を想定し、業績の上昇を予想しておりました。

しかしながら、AI や EV 等の新分野に対する需要拡大への期待が高まる一方、景気変動やスマートフォン・PC 向け製品における在庫調整、サプライチェーンの不安定化、主要国間の摩擦等の影響を受け、製造装置需要は当初見込を下回り、受注が減少いたしました。その結果、生産台数の減少や一時的な人員稼働率の低下等が生じ、想定を下回る推移となりました。

この結果、売上高・営業利益・当期純利益はいずれも前期比では増収増益となったものの、2025 年 6 月 30 日公表の業績予想修正値をいずれも下回る水準で推移いたしました。また、経常利益につきましては、後述の営業外費用の計上が影響し、前期比及び 2025 年 6 月 30 日公表の業績予想修正値を下回る結果となりました。

2. 営業外費用の計上について

(1) シンジケートローン手数料の計上

当社は、2024 年 3 月 27 日付で開示しました「固定資産の取得（新工場建設）に関するお知らせ」のとおり、2025 年 9 月期において新工場（ファクトリーセンター益城）の建設に伴い、シンジケートローン調達時に発生したアレンジメントフィー及びエージェントフィー等、総額 49 百万円の手数料を資金調達費用として営業外費用に計上いたしました。これにより、当期の経常利益には一時的な負担が生じております。

なお、2024 年 10 月 2 日付で開示しました「シンジケートローン契約締結に関するお知らせ」のとおり、2024 年 10 月 31 日付で、株式会社みずほ銀行をアレンジャー兼エージェントとするコミットメント期間付タームローン契約を締結しております。

(2) 業績に与える影響

上述の営業外費用の計上により、当期業績は前期比で減益要因となりました。しかしながら、本件は財務基盤の強化及び将来投資への対応を目的としたものであり、中長期的な収益力への影響は限定的と認識しております。

なお、本日付で公表した「2025 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において、これらの内容を反映しております。

以 上